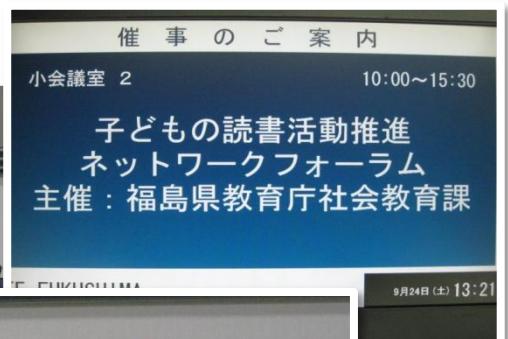


平成28年度 ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト 「子どもの読書活動推進ネットワークフォーラム」

日時：平成28年9月24日（土）10:00～15:30

会場：ビッグパレットふくしま



福島県教育委員会

平成28年度ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト

「子どもの読書活動推進ネットワークフォーラム」実施要項

- 1 目的 読書ボランティアや読み聞かせ実践者、図書館の職員等が一堂に会し、子どもの読書活動を通じた、生涯にわたる読書習慣の形成について研究協議を行い、その成果を発信するとともに、継続的な取組が推進されるよう、様々な分野にわたる関係者等のネットワーク化を図る。
- 2 主催 福島県教育委員会
- 3 期日 平成28年9月24日（土）
- 4 会場 ビッグパレットふくしま
〒963-0115 郡山市南2丁目52
電話 024-947-8010
- 5 対象 読書活動推進に向けて活動する方、学校司書及び図書館教育担当者、ボランティアに関心のある方、読書活動経験者でさらに学びたい方、幼稚園・保育所・認定こども園関係者等、子どもの読書活動に関心のある県民
- 6 日程・内容等

時 間	内 容
9:30～10:00	受付
10:00～10:10	開会式
10:10～11:30 (80分)	シンポジウム テーマ「生涯にわたる読書習慣の形成について」 コーディネーター 福島大学人間発達文化学類 教授 白石 昌子 氏 パネリスト 国見町教育委員会教育長 岡崎 忠昭 氏 会津若松市立会津図書館長 坂内香代子 氏 元高等学校司書 長崎キヨ子 氏
11:40～12:00 (20分)	ビブリオバトル福島県大会の紹介
12:00～13:00	昼 食
13:00～14:30 (90分)	講 演 演題「乳幼児期における読書活動の推進について」 講師 絵本作家 山本 省三 氏
14:40～15:30 (50分)	ポスターセッション 乳幼児期における読書活動推進事業委託市町村による発表

シンポジウム

テーマ「生涯にわたる読書習慣の形成について」

コーディネーター 福島大学人間発達文化学類 教授

白石 昌子 氏

パネリスト

国見町教育委員会教育長

岡崎 忠昭 氏

会津若松市立会津図書館長

坂内香代子 氏

元高等学校司書 長崎キヨ子 氏

コーディネーターの白石教授の進行のものと、国見町の取組、会津図書館の取組、長崎氏の取組を受け、生涯にわたる読書習慣の形成について、必要なことは何か、大事なことは何かを話し合うことができました。



【参加者のアンケートより抜粋】

- いろいろなお話が聞けてよかったです。現場の声が一番です。
- 教育行政、公共図書館、学校図書館のそれぞれの立場からの話は、大変興味深かったです。これらが、効果的に連携していくべきと考えています。
- それぞれの立場の方から「読書」について、いろいろな考え方、感じ方、取組を聞くことができ、読書の大切さを改めて考えることができました。会場の人とのやりとりが少しあるとさらに良かったです。
- 「子どもの読書環境は親の問題である」ということは同感です。どのようにして、親を取り込んでいくのか、メディアコントロールと併せて家読を進めているところです。
- 「良書より適書」など、新しい視点の意見を聞くことができた。
- 読書習慣の形成には保護者（大人）の影響が多大なことをあらためて実感しました。また、読書推進していく上で、学校・地域・行政の連携した取組を伺うことができ、勉強になりました。もっと話を聞きたかったです。
- さまざまな立場からの貴重な意見、提言や取り組んでいる事例を聞くことができて、非常に参考に

「平成27年度ビブリオバトル福島県大会」第3位の会津学鳳高校2年 鈴木祐亮さん、第1位の葵高校3年 板橋千夏さんに、ビブリオバトルの模範実演をしていただきました。



【参加者のアンケートより抜粋】

- とてもおもしろかったです。子どもたちが本に親しむきっかけ作りになるといいです。
- 本の楽しさを知っている高校生の姿が生き生きして良かったです。
- ビブリオバトルを通じ、読書から発信者へと変わっていく。単なる本の紹介に終わらない。聞き手側を意識して紹介していく姿が見えて、すばらしかったです。
- すばらしい発表です。本の世界に引き込まれました。
- 今回初めて「ビブリオバトル」を聞く機会に恵まれたが、本の内容を分かりやすく、聞く人に伝え、さらに読んでみたいと思わせる読み解きのすごさ、聞く人の心を動かす、伝えるを感じました。
- 高校生とは思えない落ち着きで、すぐに心を掴まれ聞き入ってしまうほどで、読んでみたいと素直に感じることができました。
- ビブリオバトルは、取り組みたい事業だったので、とても参考になりました。発表がすばらしかつたです。

講 演

講演「乳幼児期における読書活動の推進について」

絵本作家

山本 省三 氏

見立て遊びの有用性や、絵本作家になるまでのご苦労話、本を通したや読み手と聞き手との共感の重要性など、さまざまな経験を基にした、興味深い講演をしていただいた。



【参加者のアンケートより抜粋】

- 「共感」が大切というのがわかりました。人と人との出会いは何にでも大切にしたいです。
- 見立て遊びは、創造の世界で楽しむ子どもたちの姿が見て、「はっ」とさせられました。
- 先生の幅広い知識にも驚きましたが、興味・探究心を持つことで広がっていく世界を知りました。
- 絵本と子どもの素直な発想のお話、とても良かったです。
- 紙を切って誰が食べたかやハンガーが何に見えるかなどの見立て遊びがおもしろく、私も子どもにやってみたいと思いました。
- とても楽しく、おもしろく笑いもあって、初めて解ったことも多く、飽きずに楽しい時間を過ごすことができました。
- 絵本と読書について、作家として、絵本づくりからの取組、楽しく聞かせていただきました。子どもと本を読み合う。=共感し合う。

ポスター SESSION

「乳幼児期における読書活動推進事業委託市町村による発表」

平成28年度乳幼児期における読書活動推進事業委託市町村（二本松市、田村市、西郷村、矢祭町、西会津町、金山町、猪苗代町）の取組の様子を発表していただきました。



【参加者のアンケートより抜粋】

- 各地の取組が知り合えて良かったです。
- 各地域の方に直接話が聞けてとても貴重でした。
- 各市町村、工夫しながら取り組んでいるのがわかりました。ブックスタートから親子のコミュニケーションにより本好きになってほしいです。
- それぞれが読書活動の推進に力を入れていることがわかり、今後も継続されることを願っています。
- どの市町村さんも様々な工夫がされていて勉強になりました。パネルの子どもたちがとても楽しそうでした。

参加者アンケートより（全体を通しての感想）

- 絵本作家さんの講演もあり、充実した研修会でした。また、来年も絵本作家さんの講演があると良いと思います。ビブリオバトルの模範演技もあり、参加して良かったです。県立図書館のビブリオバトル福島県大会にも参加したいと思います。
- いろいろな領域でのフォーラムを開催していただき、大変聞き応えのある、考えせられる時間がありました。ありがとうございました。
- 今まで、あまり子どもの読書習慣について考えたことがなかったが、今日話を聞いてみて、読書の重要性について考えることができた。乳幼児期から読書習慣を母子ともに、身に付けることが大切だと思った。そのためには、私たちの「しきけ」が必要になり、魅力や重要性を伝えていかなければならぬないと実じた。
- 子どもにとって読書は、大人の力が大きいので、私たち大人が、しっかりとしなくてはいけないと思った。良い機会をありがとうございました。
- もっと大きく多くの人を呼べるフォーラムだと思います。近くの図書館で、チラシは見かけませんでした。もっとPRをぜひ！今度も頑張ってください。応援しています。
- 新しい情報等を得ることができ、有意義な時間でした。ビブリオバトルを初めて見て、身近に活用してみたいと思いました。次回も絵本作家や児童作家のお話を聞いてみたいです。
- 専門の人たちから本当のお話を聞くことで、自分もワクワクする気持ちになりました。ありがとうございました。

<参加者の皆様へ>

※ お忙しい中、本フォーラムに御参加いただき、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。御参加いただいた皆様からの貴重な御意見を参考にさせていただき、今後の研修の在り方や内容等の改善に生かしていきたいと思います。

(福島県教育庁社会教育課)